



秋葉
畫
本
石
譚
三

特 別
13
980
3



夕香之助さる巧有とハさるる。畏く領掌一。其用意一。一僕を
 随へ立出。時既ハハ過あせハ。二里小余る道。飯路ハ是非夜ハ入
 ちんと提燈取持せ足成逸め。清凉寺へ参詣。廟参あり終る
 小早黄昏の頃あれ。任侶立出。香之助主従。湯漬成勸め。多
 多賀島ハ日の暮し。心急ぐれど。任侶の志も黙止。食膳小付
 て手早くあ。終。一礼成演て立出。提燈ハ火成點。心慮一
 く道成急。早帷子が過。さ。く。る所。右手の樹林。より。二三人の男。
 手巾。と。く。面成深。く。包。を。る。が。頭。き。出。物。成。も。い。く。と。下。僕。が。持。提。燈。
 した。と。と。坊。と。ユ。洛。し。ぬ。僕。ハ。又。の。光。小。怖。き。ゆ。あ。や。と。叫。て。左。の。茂。林。へ。逃。入。
 夕香之助も。孩。た。さ。が。ら。扱。ハ。夜。盗。の。類。あり。是。何。程。の。ま。あ。ん。と。身。

構ふま。早曲者ハ夜月の中。晃く白刃。拔連有。吾成も不言。斬てか
 う。香之助心得。と。一。刀。抜。合。せ。一。言。の。言。闘。ま。る。違。も。わ。く。月。ま
 小出ぬ。夕闇の星。う。光。成。使。あ。る。左。右。前。後。小。眼。成。配。三。人。成。對。手。小
 切。結。曲。者。ハ。是。別。人。あり。守。岩。洞。平。馬。主。従。あり。伊。は。幾。嶋。末。と。示。合。せ。
 茲。小。待。伏。して。香。之。助。成。暗。害。小。せん。巧。を。な。む。透。間。も。わ。く。三。方。より。坊
 立。き。と。早。足。手。煉。の。香。之。助。習。究。り。秘。術。成。は。く。右。成。拂。て。ハ。左。成。坊
 上。成。薙。む。身。成。ま。づ。是。裾。成。拂。む。お。り。越。千。変。万。化。して。爾。さ。る。波
 上。小。燕。の。戯。る。が。う。花。下。小。胡。蝶。の。飛。う。が。似。く。前。小。在。う。と。カ。ハ。心
 焉。して。後。小。出。右。小。在。よ。し。と。れ。ハ。尤。小。在。く。あ。と。と。姿。成。刀。を。ひ。る。と。能
 ハ。と。岩。洞。が。二。人。の。僕。ハ。原。未。兵。衛。不。鍛。煉。あり。唯。醉。う。が。痴。あり。が。如



山本



香之助

岩淵主従香之助を

暗討小せん

反て香之助

討る

因

く。己が太刀筋ふふんえり守なり。同士討く疵我負益狼狽く漂
 我多賀島得り賢いと。岩倒が刀拂ひ捨る。横小振出を一刀一人の
 僕我腰車小切居。及て刀小又一人。尤加衣出小切倒しぬ。岩倒ハ眼前二人
 の僕我討き一驚我喫いふが。強勢不敵の曲者あきむ猶も瘡ど
 気我属一縦横小切結とくも。香之助が早業小敵いぐる。遂小一刀
 我緒損し右の肩尖より乳の下で。鋒深く切下らき呼と叫び去り
 居小嚏ど倒る。横小薙太刀先小。香之助も高股小疵我受ぬ。されども
 かこり手あきハ物もせむ。ねえけく三刀やう切付る小と憐れ。岩
 倒平馬敢あく路頭の露と消ぬ。あれ悪針我巧く却て其身
 我亡しと。愚人其の虫小等とは。是木の者我やいふある。香之助ハ

素をつくと老我刺始て一息を吐扱危たか危く。その渠ホ夜
 盗大徒たハ先金銀衣服我奪んとと。燈我切消有吾を
 も不言。每体小討果さんとせ。意趣切や。人違あむと。わたり
 手拭我引裂く高股の疵我巻。死人の衣服ゆく刀の血引拭ひ鞘小
 収免我召具せ。僕ハ何所へ逃よりえと。傍を刀いども居る。あ
 も何とこやくと呼まきむ。怖く側の茂林より匍匐してはく
 あり色あく。脚身小過ちハ。はらとやと。いさく齒の根あられ。香
 香之助微笑し。吾幸小我ハ柳の薄手の。かゝる所小長居せんハ益
 けい。いざ来きとく先ゆと。疵は痛く歩く苦く。れハ路の傍小
 生出し。篋の竹切て杖とり。是小さうり。漸と六角の邸へと

くろくろ

奮勇多賀島陳謝無失科條

却説伊沢幾嶋ホ、今宵岩倒ハ香之助成歩果一、我徒ハ播
之助成欺死先達テ將軍家より當家一下一置き、浮牡丹乃香
炉成取出させ、貨物となり唐衣が身の代成との賞出、播
之助越度の根成殺人と示し合せ色々、邪弁を逞くし難く主
と賺し、香炉成取出させ、幾嶋是成推乃、畠山入道々誓言が許小到
密吏の趣成結、祐明々廿小出、此香炉成預、五百兩の金子
成借賜、頼と多、原来祐明齊と心成合、道誓一議小由
及、五百金成幾嶋小借手、香炉ハ已々方小預、兵藤ハ

大小悦ハ件の金子成懐、嶋原の角屋小り、唐衣が親方成
呼寄、金子成与へ唐衣身成賞、賀小棄、朱雀乃別荘
一侍ハゆ、一間ハ入、並立ゆ、播之助小斯と語を、れ、計
らハ、か、と悦限、此ハ岩倒、左右ハ、待所、其夜の一更過
小香之助立ゆ、播之助が面前小出、脚代泰前尾能仕、唯今、飯着仕
但、途中、狼藉者小出、會、已更成、不得、抜合、必討、捨
某、薄手成肩行、歩心小任、時、延引仕、此段、脚免成、素、
いと陳謝、播之助ハ香之助が無吏小ゆ、分、ハ思、け、れ、
大小驚死、惘然、更、所成、先、香之助成、彼、部屋小
退、幾嶋伊沢成、所小招、汝等、多賀嶋、成人、れ、討、果、

くやせしを態し時尅成移し佛参せし唯今香之助脚不疾
ハ受あがら多岐小立ゆアハ如何と難む兩人頗る驚死岩洞主従
が向ひ上ハ討果し得んし袋の物成り出とより安くつむと思ひ
侍りし小立針久渠五岐小ゆりいんとハ透間あやそ遊飯アアア
岩洞主従成討得て飯更ハ侍らま先人成地り足せりんとて已が腰
心の者小命一彼所へ弛到らむる夜の明方小三人の骸成駕ふの
是成死々喘々立ゆ帷子が過りて三人も切害せしアのやう小ケ
様なり小柄落散是ありいとし赤銅小金ゆく二足獅々彫る小柄と差
出息つたあえと結りしむ伊沢幾嶋仰天一件の小柄成るる方
く先年多賀島伊織が拜領せし小柄ちれむ扱ハ弥香之助が討し

決しぬと兩人面成足合せ香之助勇放成恐怖しるる伊沢まさ思
計成按し出幾嶋と示し合せ潜小播左助小錫一斯々討らせむ
つと那謀成勸むと播左助其言ハ順ハ屏風の影小捕人の武士五
人成忍むせ近臣小命一香之助小出仕とてた音成とすさせたる此時
多賀島ハ警成迎了金瘡の治療成受居し小主君の召とて即時
小衣服成改め出仕と君前小平伏と時小播左之助手はく帛物小
包し小柄成り出り多賀島小向ひ汝此品成足知きやと投とふ
香之助膝行して上押頂たて座小飯子帛成巻戻して一眼とらふ
お蔭死是ハ終るる死某が指料の小柄小前夜狼藉者と聞ひいひ
帯り落しぬとて飯着の後指料成改め小小壺之大殿より又伊

織へ下賜^{おとせ}し大^{おほ}切^きの品^{しな}より落^おせりか十^{じゆ}度^ど百^{ひやく}度^ど悔^く惜^し侍^しりし
再度^{また}手^て入^い悦^えしとささし何^{なに}故^{ゆゑ}此^{この}品^{しな}の君^{きみ}の御^ご手^て入^い侍^しりしとゆふと来^き
終^{つひ}らまふ御^ご前^{ぜん}小^{せう}侍^しふ幾^{いく}島^{しま}兵^{へい}藤^{とう}者^{もの}も出^いしと呼^よび筆^{ひつ}侍^し殺^{ころ}
り挿^さ入^いの武^ぶ士^し屏^{びん}風^{ふう}の蔭^{かげ}より躍^{おど}出^い上^{かみ}意^い候^{こう}と呼^よびて十^{じゆ}鏡^{きやう}歩^ほ揮^ひ進^{しん}
しる思^{おも}ひけりまをまれども賀^が島^{しま}頗^{おほ}る驚^{おど}ぶが右^{みぎ}左^{ひだり}よりまをる捕^{とら}
人^{ひと}爪^{つめ}投^な退^{たい}れぬ續^{つづ}く両^{りやう}人^{にん}組^{ぐみ}付^つ成^な一人^{ひとり}捕^{とら}膝^{ひざ}小^{せう}敷^敷一人^{ひとり}腕^{うで}首^{くび}
後^{のち}へ捻^{ねじ}曲^{まが}大^{おほ}木^き色^{いろ}成^な厲^{れい}しくとも何^{なに}吏^しの御^ご不^ふ審^{しん}有^あり不法^{ふぽう}小^{せう}縛^{ばく}人^{にん}と
ハ志^し々^々ヤと呼^よびりしれども伊^い次^じ丹^{たん}平^{へい}嘲^{あざわ}笑^わひ汝^{なんぢ}張^{ちやう}儀^ぎが舌^{した}成^な借^かとも言^い
解^と小^{せう}も詞^{ことば}あり前^{ぜん}夜^や君^{きみ}の御^ご用^{よう}小^{せう}は死^しぬ若^わ例^{れい}平^{へい}馬^ま二^に僕^{ぼく}成^なる奥^{おく}
朱^{しゆ}雀^{さく}の別^{べつ}荘^{じやう}へ赴^{おもむ}く三^{さん}條^{じやう}大^{だい}宮^{みやう}の辺^へより三^{さん}人^{にん}も切^き害^{がい}せりし

死^し成^な送^おり新^{しん}る者^{もの}より其^{その}尸^しの辺^へより落^お散^{さん}在^ありし其^{その}小^{せう}柄^{へい}も差^さ出^い
ぬ詮^{せん}義^ぎの夢^むと改^かめられぬ見^み覚^さある二^に足^{あし}獅^し子^しの彫^お物^{ぶつ}汝^{なんぢ}が所^{ところ}持^もの品^{しな}
と八^は疾^{やく}知^ちられぬ世^よハ似^にる物^{もの}のりれ小^{せう}あきれむ念^{ねん}め為^な小^{せう}向^{むか}結^{むす}しめふ
小^{せう}蛙^わハ口^{くち}ろととと誘^いひてく己^{おのれ}が小^{せう}柄^{へい}より上^{かみ}より八^は岩^{いわ}洞^{どう}主^{ぬし}從^{じゆ}成^な切^き害^{がい}せ
も汝^{なんぢ}あること明^あきりとも何^{なに}吏^しの遺^い恨^{こん}有^あり御^ご用^{よう}先^まも悼^{おそ}ら守^{まも}り封^{ふう}
小^{せう}ハあしはるそ疾^{やく}中^{ちゆう}明^{めい}白^{はく}小^{せう}白^{はく}一^{いつ}あし時^{とき}宜^{よろ}しより罪^{つみ}成^なる
らるる筋^{すぢ}もあらし小^{せう}己^{おのれ}が非^ひ道^{どう}成^な包^か入^い帷^ゐ子^こが辻^{つじ}ゆく狼^{ろう}藉^{せき}者^{もの}より出^い
遇^あへぬ迹^{あと}形^{かたち}をた偽^{いつはり}言^{ことば}成^なり上^{かみ}成^な欺^{あや}る不^ふ忠^{ちゆう}不^ふ義^ぎなるのま
ら守^{まも}御^ご下^げ知^ち成^な得^えく庵^{あん}方^{かた}より捕^{とら}入^い成^なる君^{きみ}前^{ぜん}も悼^{おそ}ら拒^こり
重^{ちゆう}罪^{ざい}人^{にん}とも及^{およ}ばぬ腕^{うで}立^たせんより尋^{たづ}常^{じやう}不^ふ脱^{だつ}成^な曲^{まが}りて剣^{けん}なる香^か舌^{した}之^の

朱雀の別荘へ赴く三條大宮の辺より三人も切害せりし

助些も屈せど。是ハ縊たる濡衣るも。狼藉者成討果せハ帷子分仕
 あるる。其が僕成紀明有ても察し。之原來烏羽玉の圖といハ名称
 もせし。面成包めむ。岩測かりとも維かりとも。善悪もこぬ。暗やられ
 燈ハ疾小切満まつ。光るハ劔の指妻の。避遁も人の中も何せん中も。路
 二筋二腰の刀乃手前せんをな。抜令と闘ハ運合て三人も
 難かり。其場小討捨ぬ。然る小岩測主徒ハ。三條大宮めく討ま。場
 所ハ。此小柄の有なれ。勿論某岩測小遺恨成さ。とさ。な。討
 果せ。覚ハ尚侍と。此骸成送。罪人せ。者成我面前。出。と。め
 對論の上黑白成別ち。某が罪不究ら。腕成屈。縛小就。い。ん。さ。も
 かり。うちハ身不肖なれ。一城の政勢成預る。伊織。身。無失の罪。

ハ得こそ伏し。い。い。と。云。は。右。手。小。拾。上。一。捕。人。成。と。つ。て。下。座。へ。投。付。
 續て膝小引敷。さ。然。も。帶。際。抓。て。唾。ど。の。め。り。せ。自。若。く。と。更。ハ。動。
 せぬ。顔。色。ハ。天。晴。健。氣。の。少。年。なり。播。左。助。勃。怒。小。不。堪。や。ぬ。香。之。助
 う。慥。ある。燈。迹。あ。る。小。尚。横。舟。成。と。く。陳。せん。と。や。よ。一。岩。測。ハ。免。ま
 せ。角。ま。ま。我。下。知。成。得。一。捕。子。成。む。拒。ま。と。る。ハ。罪。礼。なり。其。身。小。罪
 科。の。覚。め。と。ハ。予。小。尚。拒。敵。や。と。刀。追。取。む。と。ま。王。の。推。威。の。横
 車。押。返。さ。ぬ。臣。下。の。道。礼。義。の。重。荷。小。力。なり。多。賀。島。額。成。た。と。不
 低。れ。潜。然。と。落。涙。し。是。ハ。重。々の。某。過。王。始。り。御。手。討。と。宣。ハ。さ。大
 何。条。嚴。威。成。犯。し。も。も。る。づ。た。い。御。意。の。終。ハ。政。敗。し。も。去。あ。る。某。之。命
 ハ。惜。小。不。足。い。い。も。唯。歎。く。る。ハ。先。頃。免。道。の。堂。脚。覽。の。砌。り。上。の

大林可る遊里へ通初り入溜酒小脚心我傷されも練我納る草々
其更となく遠避りし不正我勸る儼臣ハ片時も側我放ち玉る余寛
仁柔和の脚心失く稍もこれ短慮殺伐の脚行迹此更將軍の上
聞小達せし如何なる御怒の御身小及んもあつき侍も左右
アモ御家の耻辱弓矢の瑕瑾千度百度悔みも後悔先小立
いよ昨日御代恭の時刻の延引路次よく不虞の狼藉も思ハ
不審いと多うりさされ命の際小臨ち中解人も未練小似たり只願
くハ臣が死後廓通我思とより倭者我遠避脚身我慎之勤仕我
属ヤせりうと伊次幾嶋我尻因小けおれを搔上り死我究の
くる末期之苦練播之助ハ是我も馬耳風とほのめあつ怒の

心火益燃立其我汝どれ小学ぶづれ久己ケ悪更ハ押隠し主の悪き
名成くくへえる不義不忠の悪少年也我者ども女賀島り我白破
へ引居よ佩刀の斬味試んと指揮さるわを心得候と答はくその用
意ふる所小俄小室町殿より撒文至来し火急小出仕を命れ由
書せしれいば播之助何更小やと胸裏死先々香之助ハ高手小縛
アモ一室小押筆おれ番卒を命れ其身ハ伊次幾嶋を隨
心あつて管中へぞ出仕

香之助避無六刑定至家條

多賀嶋香之助ハ思ハざる濡衣被被強く縛られ一室小押込られ
屠所の羊厨の鶏ろくろ只及の身小及我待多うが熱心小思やう

此度の災害ハ皆是伊沢我島岩淵ホガ所為ありめ我君の放蕩
 成敷風竦まるとも成とく君小逸ト態と時刻成延トく代参せり
 岩淵途中小埋伏し不知人我成討果さんとせし小我却く渠ホと
 討果せしと兼ての惡針齟齬せりふより落せし小柄成燈跡小
 岩淵を害せしと無失の罪名成と成自他とも刑戮成加人と巧し
 更鏡小くけ孫と顯然とりの茲成と成渠ホが胸裏成照しとれば唯
 君小奢移成勸めしホも一時の榮花小飽人のまゆ右より疑りくも
 主家の分家と成祐明齊ホと心成令し先若殿の越度成引出し重
 くハ切腹経くハ追放成たに遇せ進しせ往々ハ大殿成我殺して国家
 成押領せん巧ゆくと成有成然る時ハ我若年うるとも闇る無失の

戮成待成た時節ありずと成一旦不臣の名成被るとも君家の大吏
 小ハ替がくといふゆもして當館成遁き出又伊織成對面し國家の
 長久成議せんとの心小心ハ定めながる身ハ縛りま羽拔鳥如
 何せんと思煩ひし位と謀成案し出番卒成呼く言々るハ我
 頼小便通の氣味あり願くハ脚身の心成と成皆し縛成解得さ
 せらんや便更終るハ又縛成就かん成幾くも番卒敢て承引せ
 らし仰る所理ありども一存成として繩成解更能く頭人への
 昔成達し指揮成得く右も左も成進しんと立上る成香之助ハ
 更の不叶成及てとんとと後より脚成上番卒が助成と蹴る
 手煉の當身小叫くと言えんとのけまぬ小倒きくり香之助得よりや

と傳のまゝ後園へ飛下る所。何時の程より窺ひたる。萬島護平一
室より躍出。曲者やうと技討ふ。うらうと切て香之助を繩同ハきれて
ちり解ぬ。護平手早く携ふる。多賀島が大小と風呂敷包を投
与へ早落よとの情乃目録香之助大に悦び押戴て両刀帯の包は
も身小結付礼謝ハ下る頭小ちせ忍足しく後園へ走下。痛め
る足は踐ちめは外面へ見越の松が枝小幸うしくくを登り閃り
と秘する秘術の靖身。早黄昏の薄晦やだま何国ともなく落行
り。護平ハ香之助が落延しをみる。心安くと胸をぐあう。倒し
番卒が其まゝ小拾置。ごが部屋へどぬ。斯る。やうとハ。知
む。榎本播平之助ハ火急の台命何事也と危おむ。當中へ何候

せ。北山の金閣寺造管小付。庭前の池中小置る。名石は諸候
乃面々へ命せられ取寄ら。ゆふ依英列ゆ。其旨中達と。やうの嚴
命かれ。播平之助始て心を安ん。敬で領掌。脚暇賜。六角
の郎へ。うり。うら。藩中。大に強惑ふ。体あれば。奈何ある。吏と。向ふ
多賀島番之助。番卒が當殺。縛。解。何國ともなく。逐電
た。小放緒方へ。追人。が。け。ん。の。斯。強。動。小。及。ひ。い。と。若。く。播。平。之。助。少。少
て。其。儀。あ。ら。追。人。を。う。ら。ふ。及。び。ま。ち。拾。置。よ。渠。う。あ。と。を。国。降。乃
伊織が方へ。落行らん。幸ひ。火急の台命。の。ま。ま。家。城。へ。急。使。が。ま。ま。の
次。小。香。之。助。が。一。件。が。由。中。遺。し。本。國。へ。立。寄。ハ。搦。捕。せ。よ。人。と。制。する。小
ぞ。藩。中。の。者。ども。漸。小。鳴。が。ち。う。ら。う。播。平。之。助。幾。嶋。小。對。ひ。此。急。使

維彼と擇ぶより汝参りて台命たいめい成も演香之助えんかうのすけが悪行の條成も父
 君の言上せよと命めいト々れた兵藤畏王へいとうをいおう即時すうじ小其用意こそのよういと綱つな聖朝未
 明あきら小郎こらう成なり發足はつそく急駕いそがや小兼こかねト夜成日小次よなりひこじで急いそがせる程小四日
 の五時相列濱名城なみぎらめを著ちやしる。此時城主英列ハ疾病餘波しやうびつじやう
 く平癒へいゆしるれば長臣伊織ながしんいおり成なり對手あいて小基成こきなり圍こて居ゐる所京都きやうとより
 早使到著はやしちやうとせりと成なり斜しやめる寸孩すんがい成なり立出對面たてだいでいめんしる子細こさい成なり向小むかひこ成なり
 兵藤播下之助へいとうはく下のすけが書翰しやうわん成なり呈せいしる扱あつか中々ちやうちやうハ此度將軍家衣笠山このたびせんげんけの林藤はやし
 金剛寺成きんぐうじなり造営ぞうえいしる小就こすけ御庭前ごていぜんの沼ぬま小置こおきるゆゑ奇石きせき成なり並ならび
 諸候しよこう小力こぢからありし小依當家よあてへも其台命下そのたいめい里さとハハ夜成日小次よなりひこじで馳下
 里さとハハ息嗣いきつがあらむむむむヤヤ英列えいれつせる甚不與しんふよしる台命重たいめいじゆうしる

本國家の大吏ほんこくのかだいといふあらむ必竟ひつきやう脚慰けつゐの小吏せうなるれ邊へしる急いそが
 せる人ひとあらむら手て柔なめるハ心得こころえむむ是播下はく下の下知げち汝にハ一存いつぞんろと苦く
 しる向むかむむ幾嶋赤面せきしまくせめんしる全ぜんく其そのが一存いつぞんらるとと原來げんらい主君しゆきんの御下知ごげち
 小こハハ尤路次ゆろじ成なり急いそをを成なり台命たいめい成なり報ほうしるあらむむととのの小こハハ今般こんぱん妻
 駕嶋香之助かじまかうのすけ何吏なんしの遺恨いこんもも岩瀧いわたき主しゆ從したが成なり圍封ゐふう小こハハいいふふよりより則
 石楠いすくハハ吟味ぎんみの間押のま電置でんおきももしる所室町しよむちやう脚出動けつしゆつどうの間のま成なり窺うかがひひ番人ばんにん
 成なり蹴け倒たうしる逐電しゆでんををいいひひしる在自然ざいぜん本國ほんこくへへ立寄たてよりるももとと成なり志し小
 馳下ちげ里さと言こととと仕しるるべべたたよりより命めいしるいいとと伊織いおりがが方かた成なり尻眼しりまな小こハハけけるる
 々々れれババ多賀嶋伊織たがじまいおり大おほ小駑せうたた是こハハ如何いかゆゆとと胸強むねづかいげげとと主君しゆきんの心こころをを有
 んんとと差和さわくく言こと句く成なり發はつせる英列えいれつ眉まゆをを擧あげげるる香之助かうのすけハハ若年わかにんとといいふふ

膽略智人小勝まごも篤実貞正ゆく能忠孝の道守り万
 慎と深た者ある小朋輩成周討ふまるとり禁囚の身として主の
 苗主成窺ひ逐電まごあんと乱行成なると家不審なり是ハ
 必深た子細有あめ援之邪正成紅とごんを忽怪罪成定めご
 一汝、休足し京都引返し台命畏まごより播下支助より言
 上し命して退し免其後伊織小向の思けさ香之助が行
 条定く倭奸の族が所為あめ若汝が方へ主寄バ不知人ごめ置て
 蜜小中出よ我よ小計ひ得ませんとも有るふぞ。多賀嶋使頭し
 今小初ぬ仁慈の御約肺腸小深く忘るう今小ゆいへ主寄侍人
 早速捕へち言上仕りいんご。尊く君思成謝し御暇玉りて

退出しる叔幾島ハ祐明齋小示し合とる免密事もいれも英
 列が言の裡何とやん底気味あしく其更成も終し得と其日も
 城中より疲成休免翌日早大小濱各成まき京師を引返しる
 射蛇神英列護石与鏤條

斯く視本英列八室町殿の令成承り如何も諸人の眼成驚子狩の
 名石成得る君の脚感小預らむやと數多の人歩成とる遠近の山
 谷を尋需りむるに當国設樂郡宝来寺山の奥千壽が嶺の麓あ
 不深測の汀小奇石姓嚴若干とむと報とる小よりさる能見極る
 堀穿しんと傾る數多の石ゴ成召寄其身ハ狩装束美々しく刷ひ
 甲斐及黒の逸物小降りて同勢百余人隨へ價名成立り行進し脚油の宿



空末寺
乃山真
英州
蛇神
射鉄
丸
得る
因

より道茂横坊。行程八里。茂経く門谷村より宝来寺。茂道子壽分
 峯を志し。攀登る。抑此山。八當国一二の高山あり。千丈の峻。岩我
 々と聳えて。古樹老木。若羽箭と茂。王合万仞の嶮。响々々と深し。朝
 烟暮雲。常不絶。羊腸。嶮道。苔滑。小巖。巖峙。刃。茂。種。朝
 彼王陽。先人の遺體。茂奉。奈何。数此險。小垂。む。と歎
 蜀の九折。坂。是。小。過。一。と。刀。え。す。時。小。三人の。携。支。推。柴
 刈。と。出。来。上。兵。列。が。同。勢。の。多。た。を。刀。を。研。各。々。ハ。何。の。為。以。深。山
 ハ。日。け。入。西。ふ。や。と。同。歩。卒。云。く。の。脚。用。あ。く。け。登。る。わ。り。と。答。ふ。携。支
 舌。成。あ。る。と。せ。あ。ふ。恐。ろ。一。彼。例。小。往。古。より。神。龜。任。す。我。徒。乃
 山。持。さ。る。者。也。汀。下。る。の。を。禁。む。小。其。例。の。巖。あ。ん。と。案

玉。り。龍。神。の。崇。也。や。觸。る。同。く。ハ。止。玉。り。と。い。ひ。行。還
 ぬ。歩。卒。亦。是。を。歩。大。小。登。た。懼。を。互。小。面。茂。合。す。躊。躇。と。英。列
 衆。茂。屬。し。賤。山。樵。の。り。吏。何。ぞ。信。む。小。足。人。や。普。天。の。下。王。土。小。あ。り
 さ。る。所。や。ハ。あ。る。帝。王。小。次。る。將。軍。の。嚴。命。を。得。く。向。ひ。一。英。列。名。也
 あり。愚。民。の。約。小。恐。怖。引。返。さ。る。臆。病。未。煉。の。臭。命。茂。世。人。小。と。ま。へ
 ら。祖。先。の。名。茂。下。さ。る。進。や。者。い。も。と。て。自。真。先。小。馬。茂。歩
 せ。急。峻。の。坂。道。茂。経。難。く。深。淵。の。辺。り。小。到。王。乃。小。例。の
 廣。さ。方。三。町。小。餘。王。奇。石。姪。岩。四。小。充。滿。一。つ。小。眼。茂。奪。さ。る。ハ。九
 汀。小。松。柏。枝。茂。交。く。日。色。茂。掩。ひ。水。面。ハ。碧。潭。藍。より。青。く。所。々。小
 渦。卷。く。底。の。深。死。と。幾。千。尋。の。限。を。あ。ず。す。乃。小。身。の。毛。堅。ち。肝。寒。く

物凄しとたゞす小物カ、物凄しとたゞす小物カ、數多の士卒石巧も此先景小戦慄し、顔色
 土のくくあつざるハナシ、英列ハ彼ホが恐怖とるハ目の中ハ手ハ拱く
奇石是彼と見聞く、山海具足し善美備りしガ三塊揮る石
工小指揮して疾堀穿ると令と石ニ等已吏を不得俱小ガ属一
 カ成合して指揮の奇石成堀穿つ所小、あま姪しふふ暗く日色俄小
搔曇里山風烈く吹落る時あぬ時雨一頻降出まふど須發龍
神の咎と戦慄く我ちとと逃退く、英列大ハ怒玉世あも言甲斐
あ死者もあつる深山函谷小ハ不時の風雨起るし珍しくも蒐
事や殿原より劇中小惡龍毒蛇とむとも何許の吏り右人僅の石塊
死惜しく妨死ふまむ我ちと劇庭成く干く毒蛇成屠し、武

威の嚴あつ成とつたどと鞍坪とれ令とれバ士卒石ニも此勇言
小属され再び精神成壯り石根と切穿ち難く三塊の奇石を
堀得て似小運び移ちや否俄然とて峯鳴谷谷へ黒雲一天小
充つて恰も暗夜のく激風甚雨冷く霹靂山谷成劈か如
く鳴裏と等しく水面に逆浪渦巻上り、二丈余りの大蛇虚
空成臨て飛躍を其さ如何とや眼ハ二大鏡成あふけさるガ
く爪牙ハ利死鎗戟小似く血盆のくた巨ハ成張り烈く縮を
吐た鱗角成鳴り怒吼り、雲中成凌を昇るさあ恐し死といふ許
あら、諸卒ホああや叫び其さ絶死さもあり、逃惑て跪た倒る
も有る、二眼と見らる者ハ更ふかりなり、さんハ由大勇至剛の英列

些も動ぜざりて手早三人張の強弓の小大鎗もはるかに蛇射成筋の小兵も放
 つ小手を各して雲中より物の落る音も。英列が馬の三頭も當りて馬
 の首成微塵のち砕く。早速の英列内も船の傍の岩角も下をむ馬
 一列躍上りて屏風を倒さる。其傍斃多し死にたり。此時
 周雨衝く治里黒雲次第も散じて日色も朗みなりぬ。英列も息を
 吐き河着る馬成撃殺せり。と迎り成るも韃乃大さ陣ある鉄丸
 馬血も塗る。落散あり。是は不審と血成拭去り上りて小重も十斤
 許もや有る。思鉄の丸色の金色書黒して光彩あり。扱ハ蛇神乃
 所有の物中へ扱ハ尋し。我箭も射られ取落せり。あはれ呼危なるも今
 女一下りて我身も當らぬ。忽ち五林成碎れ。あはれ恙ふる。

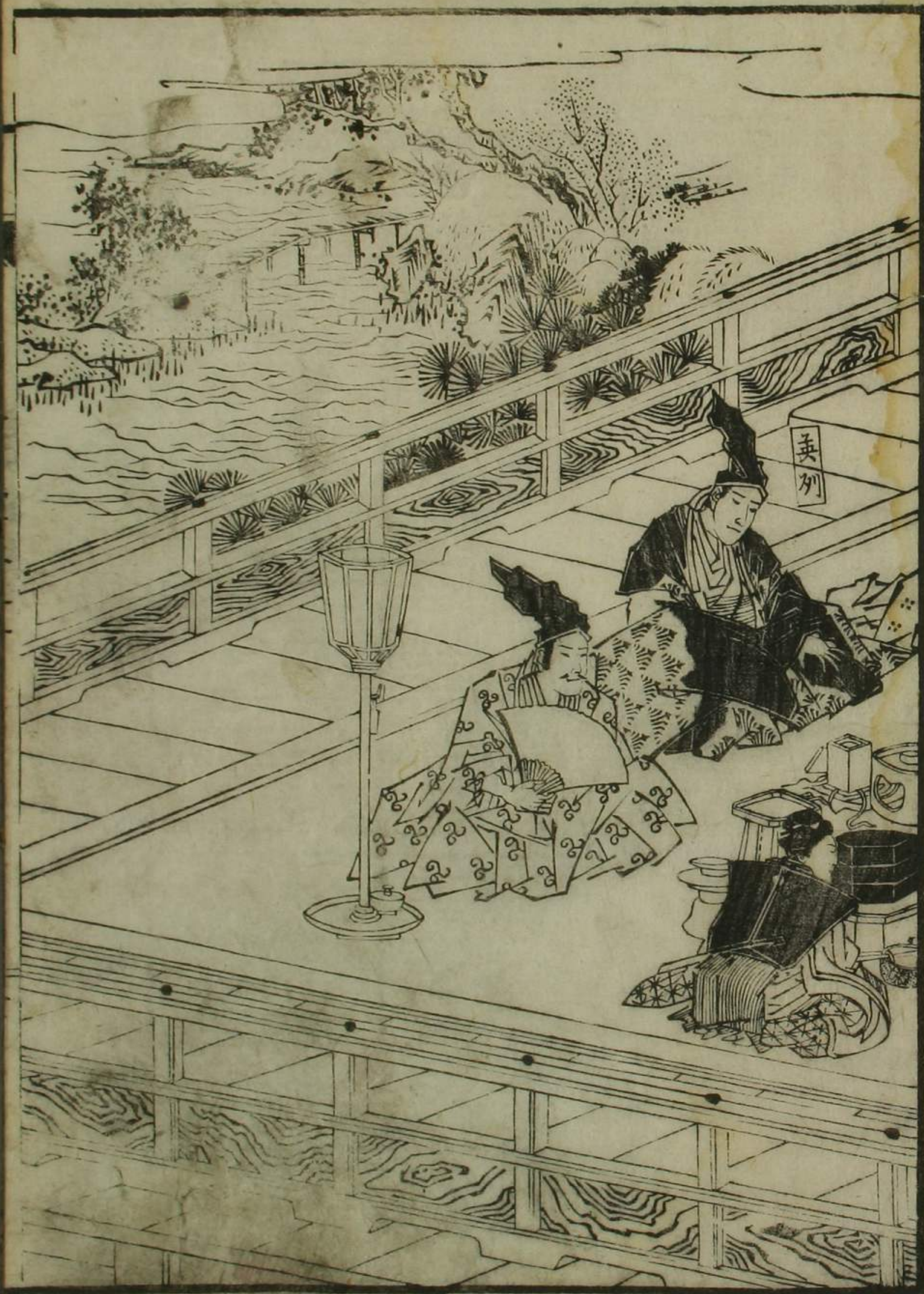
の強さよと獨ごち。或ハ絶死。或ハ逃散。士卒石工成。呼活呼はく
 三塊の石成。死擔を。船ハ鉄丸成。獲へ棄ぐ。の馬も小。誇り。飲。然
 濱名城へ。飯。里。

於柳宮畠山辱英列條

斯く英列ハ家城小飯。山中の愛更。及び奇石と鉄丸も成得。
 條成。長臣多賀嶋伊織も。絡り。れハ。伊織頻り。小駑。歎。主乃安
 軀を賀して。後。中。君ハ。君の勇武。能。鬼神の。所。所。あり。む。さ。か。れ。子。鈞
 の身。も。危。危。小。臨。も。も。六。君。子。の。さ。さ。る。所。以。後。ハ。只。德。成。先。
 武を後。小。なり。下。下。練。々。れ。ハ。英。列。も。然。と。是。より。ハ。萬。慎。ら。ち。之。舉。動。
 る。扱。彼。奇。石。成。都。へ。送。ら。ん。と。新。ハ。三。領。の。車。成。遣。ら。ず。行。の。石。成。是。

俄小姪風吹下し白日極曇り須臾小大黒暗と變じ山谷鳴動仕
 るく等しく湖の水逆巻より其丈二丈許の大蛇出現し空中へ凌ぎ
 昇いひ其時某携へたる弓矢前少番の蛇跡を的小切に放ち侍りし
 小千巻と俱小一物落下して乗る馬の首を砕たれぬ風雨晴
 て後落し物衣襟上り小鞠の大き許なる鉄丸を以て奇姪の
 更小思ひ携へる飯城侍り此度上京の序博識の人ありを尋問仕
 らしやく携へ上り世小姪異の更中いふ言上りこれ公方始め
 列坐の人々手拍り驚歎し古より龍の珠を抱たりハは侍り
 しくも赤く鉄丸を抱たり例成はらざる其鉄丸携へ登り
 あれ一見せんと君をえり人々も乞望するゆゑ異列畏り傾

從者疾呼し六角の邸へ馳り彼唐摠成りし事を鉄丸を以て
 君前小携へ出上覽しを備へる君袋成解り是成りし小鉄色並通
 の物とハ大異なり青黒小光彩帯人か成以て鍛ひ圓一物ハ尺
 ら難を意生むる許たりれむ稍入り許弄りハ敷脚感称あり誠
 小希代の靈物龍蛇の愛託せし宜かりし是や鉄中の玉の謂つべし
 彼楚夫人が産し鉄丸の效ハ刀劔小造らせあむ世小類カハ靈劔や
 成あめ唯恨るハ我邦小千將莫耶あり更よ其ハハれくまは承く子
 孫小傳へる誓を後代小くらす御優美の詞成下り列候も刃
 せらるる座頃小一見し驚歎し斯る靈物を抱り大蛇成恐し



英列



むろすちのめ
宝町殿の
まごちう
管中めて
うしやのまじり
白田山道誓
えいれを
えいれ
唇むろ
因

長満公

白田山

金言詩卷三

筈則我放つて射たる人周處が勇壯秀卿が弓勢あり下り守と感称
 の色席中小ち英列が面目是小過下り及えたる小畠山道誓入道ハ
 元來能成忌功我妬む小人あると小祐明齊が賄賂我得て何卒英
 列小自威させんと隙我窺ひ居る更あるむ今君我始め諸人皆英列
 う武勇我称美とる我及る扁執の心称増英列小向ひ言々る我
 小貴辺ハ威武已小鬼神我拉た世小珍り死奇品我得るきり至流し
 よ道誓ふとハ既小衰老し勇力あり高名ハ思ふ守り守り
 愚老も此頃希代の名器我得る貴辺ハ武叟のそ小あらず風雅の道小
 中疎うと古器古筆の勘底ハ功者のより毎時君の脚物結小せ
 願ハ勞我辞せと善悪我及分むと何気も死睡りてい

英列微笑し赤熱の射藝我脚賞美小預玉却る赤面小不堪
 但古器目利の叟中々愚眼のる小所小いりごとく好み道小ハ
 二見我終り玉小本懐たふくいとち々其時道誓搔立る一の
 筈我携へきり則得る器是むと差出しぬ英列より上り押り
 君先覽せと君前へき出せ義満公頃蓋成りりも器我
 取出り此時日既小暮る小脚底從眾銀燭小火我點し脚前小持
 出る君燈小照して能く脚底從眾銀燭小火我點し脚前小持
 一の其品我及知きりやと宣小英列の心と中腫成定る此器我
 乃々小是ハ如何小正し先年君より下賜り淳壯丹の香爐あり
 小大驚死道誓小向ひ此器ハ何者の手より買取りしとせられたる

道誓片類みちちかたがら北史きたし笑名わらな八現やち小ヤこやされどされど魚いさな或諸候あるしよこうの子息このこ京都きやうと在番ざいばんの
 間嶋まじま原はら小通ことほひ賣婦うりめづが佳色かいろ小惑こまど溺なほし終つひ小貫こあつひ出ひでさんとさんとししどど小身こみ更さらへ
 小也こや其代そのしろ綱達つなたちちりちりぐぐ此この香炉かうろ成なり愚老ぐらうが方かたへ差越さしこ五百金いほひやくご小拈こねんんとんとち
 来きアア一ひと夜よ買取かひ取とたたとてとて播はたた之の助すけ所ところ為なりりとと言いぬぬ許ゆる小こ以もつつ多たくくハハいいととゆゆ
 小こ命いのち死し邪よこしま入いりり英えい列れつハハ人ひと也なり知しららるる拜領らいりやうの名な器き道誓みちちかた小こ買かひとと小こ君きみの思おも
 召列候めいれつこうの朝あさ更さら是こゝハハ何なにととままどど奈何いかんせせままとと心こゝろ中ちゆう燃もるるかかくく思おもひひとといいふふ
 今更絶いまさらままるる死し手段ていけんななくく衛ゑん愧きの行ゆきハハ衣服いふく成なりるる無念むねんの洞ほら膝ひざ小倒こたふなな
 一ひとささ一ひと免首めんしゆてて居ゐりりるる是こゝがが為なりりのの脚こゝろ亭てい與よととちちてて席中せきちゆう去さるる
 け渡けわりり小八せいはち君きみ願ねがははるる脚こゝろ不ふ貞しん何なにりり細川ほそがわ頼たの之の成なり近ちかくく召めすす何なにらら蜜みつ小仰こあやせとと
 脚座こゝろ成なり主帳しゅちやう内うち小八せいはち列候れつこう也なり手持てもちありりけけ小退こたい出い出であるる道誓みちちかたハハ英列えいれつ小十

小憐辱これんじやく成なり上かみへへ潜ひそみみ小成こなり吐つ善惡ぜんあくの批判ひはん成なり小器こきの意い思おも合あははるる小こ了りょうとと
 獨ひとりもも香炉かうろ成なり收ありり是こゝ成なり推おへへてて罷出まりり英列えいれつハハ多たくくのの中ちゆうにに快くわいとといいふふ
 在あるる多たくく人ひと々々退出しゅつとの上かみへへ細川ほそがわ頼たの之の暇ひま成なり告つげげ不ふくくとと立たちち上かみりり成なり頼たの之の
 皆みな一ひとくく苗な道誓みちちかたとともも成なり器物きぶつ成なり出いでで脚こゝろ控ひか奥おく成なり妨たがへへ更さら上かみ成なり悲かなしし
 ざざらら不ふ敬けいの挙動きやうどう君きみもも怒おこりり思おも召めすす故ゆゑ成なり脚こゝろ紕き一ひとあるる時ときハハ是こゝ彼か強乱きやうらんの
 基もとととかかららすす成なり小成こなりあありり成なり小成こなりハハ態たいとと答こたへへるる道誓みちちかたがが買得かひえ一ひと品ひん足下そくかの拜領らいりやう
 の香炉かうろ成なり似に似に小同こどう一ひと品ひん今いまもも言いふふ宿所しゆくじよ成なり改かめめ一ひと上かみ自然じぜん
 終失しゆうしつちちととせせんん時とき々々小穿せん鑿さくああきき且かつ子息こし播はたた之の助すけ長ながくく在あるる京きやうををれれハハ若わか
 冠かんの過あやまりりトト小成こなりあありり成なり小成こなりハハ風ふう練れん成なり如ごとくく一ひと身みの行ゆきハハ成なり慎しん
 一ひとのの必かならず一ひと脚こゝろの義ぎ成なり念ねんとと短慮たんりよの政敗せいばい一ひと家名けな小痕こきずささるるままちちををりり

